

NPO法人北海道歩くスキー協会

平成30年度前期・後期

H, 30年6月17日～R1年5月19日



2019道新Jr歩くスキー教室in中島公園

1、日 時：平成31年2月17日(日) 午前：10:00～12:00

午後：13:30～15:30

2、場 所： 中島公園内常設コース

3、天 候： 曇り時々雪、気温 -1°C 、雪温 -3°C 、積雪約50cm

4、参加人員： 午前 41名、午後 43名 (定員各45名)

5、内 容：

- 札幌市内や近郊からの小学生を対象に全日本選手権に出場経験のある田中 誠さんをゲストに招いてデモンストレーションを実施したり、スキーの歩き方のコツを教えてくださいました。その後各グループに分かれて先生のもと歩き方の練習をしながらコースを歩きました。
- 最初はぎこちない歩き方をしていた1年生も30分位するとスイスイと歩けるように成りました。最後にミニレースをして教室の成果を確かめました。熱中しすぎて転倒し、残念がっている生徒さんもありました。それを見ていたお母さん達も熱い声援を送っていました。
- 今回ミニレースで金メダル獲得の6年生の女生徒さんは1年生から6回連続金メダル獲得の記録を作りました(おめでとうございます)
- 終了後は記念品をもらうとともに、道新の号外新聞に載っている自分の写真を見て皆さん喜んでいました。
- 来年も実施の予定です、多くの方の参加をお待ちしています。(先着順です)



午前の参加者41名



午後の参加者43名

開会式



各デモンストレーション





歩き方の練習





ミニレース大会①



ミニレース大会②

ミニレース大会表彰式



平成30年度：第3回野幌森林公園スノーハイキング

- 1、日時：平成31年2月24日(日) 09:00~11:40
- 2、場所：野幌森林公園 大沢口駐車場集合 (江別市文京台)
- 3、コース：
 - 桂コース(桂コース+大沢コース) : 3.6km
 - 大沢コース(大沢コース+大沢コース) : 3.8km
 - ユズリハコース+四季美コース+大沢コース:5.8km
- 4、天候：晴れ、気温 3°C、積雪：約60cm
- 5、参加人員：11名
- 6、内容：
 - 当公園は北海道100年を記念して北海道立公園に指定され広さは2053ヘクタールあるそうです。大部分が国有林が占めていて、その中で遊歩道が張り巡らされています。その一部が歩くスキーコースになっていて本日は3つのコースを企画しました。
 - 暖房の入ったお手洗いで用を済ませ、早速コースに入ると前日の暖気によるザラメ状の雪質で良く滑り、下りでは悪戦苦闘した人もおりました。また、大自然の景観を楽しみそれぞれのペースで歩くスキーを楽しみました。
 - 70代の男性は「遊歩道の分岐点には看板があり、頂いた地図を見ると今どこにいるか良く分かりました。又スキーは良く滑りましたが、新雪の所もあり、3回程転びましたが大変楽しかったです」と笑顔でゴールしました。来年も企画致しますので、多くの参加者を期待致します。

出発前のミーティング



準備体操





集合記念写真



桂コースに行く



マイペースで



雄大な自然林で滑る



一休みする一行



疲れたて来ました・・・



最後の休憩ゴールは近い

第14回 利根別原生林歩くスキーハイキング

1、日時 : 平成31年3月2日(土) 9:50~12:00

2、場所 : 北海道グリーンランドホワイトパーク

3、コース : グリーンランドスキー場からバラ園に向かうコース

7km:チャレンジコース、5km:ゆっくりコース、3km:らくらくコース

4、参加人員 : 岩見沢スキー連盟20名、歩くスキー協会4名 合計24名

5、天候 : 曇り、気温:0°C、雪温:-2°C、積雪:81cm(去年は123cm)

6、内容 :

● 利根別休養林(原生林)に入山する7kmコース(去年は熊出没情報により入山禁止)、パークゴルフ場を回って戻る5kmコースとグリーンランドスキー場からバラ園までで戻る3kmコースとなりました。

● 当協会からは希望者4名がオープン参加し、7kmを完走しました。

● 当日は風も無く、スタート前は雪がちらつくも、途中で止み、スキーハイキング日和となりました。7kmコース前半(低地)の雪質はあまり良くなかったですがコースを上るにつれて雪質も良くなり、昨年より滑りやすかったようです。下りのコースは気温も上がり雪質が良くなかったため、コースを変更したところ、丁度シマフクロウの通り道にあたったと思われ、運良くシマフクロウの出迎えを受けるハプニングがあったので、皆さん感激していました。

- 到着のロッジで、昨年同様岩見沢スキー連盟の皆さんから暖かい甘酒をいただきました。
- 岩見沢スキー連盟より、来年は15回大会を迎えるので、北海道歩くスキー協会として多くの方の参加をお願いしますとの要請がありました。皆さん一緒に参加しましょう。



北海道グリーンランドホワイトパークセカンドロッジローゼ集合



岩見沢スキー連盟20名、歩くスキー協会4名 合計24名の参加者



コース:パークゴルフ場を回って戻る5kmコースとグリーンランドスキー場からバラ園までで戻る3kmコースです



岩見沢スキー連盟の皆さんから暖かい甘酒の提供ありがとうございました

「有志による春山歩くスキーハイキング」

1、日 時 : 平成31年3月17日(日)

2、場 所 : 奥手稻沢川・山の家コース

9:15春香山登山口スタート～奥手稻沢川沿い～つげ山取り付、
～11:20ごろを目指し折り返し～出発点へ戻るコース 約9km

3、参加人員 : 9名

4、天 候 : 晴れ時々雪

5、内 容 :

- 幹事役員の下見等入念な準備を尽くしましたが、チャーターバスによる実施は参加者が少なく断腸の思いで断念しました。残念がる人又実施要望者も多く熟慮のうえ「有志による実施」を決意しました。
- 乗合マイカーで国際スキー場の約2キロ手前の春香山登山口に定刻に到着しました。スタート地点には小さな物置小屋があり、雪に埋もれて見えにくい程でした。その前で集合写真を撮り出発しました。

- 川沿いの小さなアップダウンの続くコースをゆっくりと登っていきます。天候も回復し、無風状態で川のせせらぎや樹林の景観を楽しみ又雪の魂の芸術に見とれたり春の息吹を感じながら前進しました。古いスキーのトレースと昨日のものと思われるスノーシューの跡が残っていましたが途中から足跡が消えて沢は狭くなり、幹事の誘導で注意し急な沢川を渡り折り返しの目標地点に到着しました。
- 帰りは春の日差しを受けながら下りを一気にスキーを楽しみそれぞれマイペースで無事全員が完走しました。70代の参加者は「本日は天候も良く大変楽しいハイキングでした。いつまでも思い出として残ると思います」と笑顔で言っていました。帰りは小金湯温泉で汗を流しました。来年も企画予定しますので、多くの参加者を期待致します。



春香山小屋集合



出発前の集合記念写真



緩やかな登り



奥手稲山標識に沿って

奥手稲山



注意しながら沢渡り



悪戦苦闘しながら



折り返し地点で記念写真





下り坂は慎重に



途中休憩・出発地点到着

第37回 蘭越町ニセコ連峰歩くスキー大会

1、日 時 : 平成31年4月14日(日)

2、場 所 : 蘭越町ニセコ連峰チセヌプリ山麓周辺

3、天 候 : 快晴、気温9℃(スタート時)

4、参加人員:143名(道内外)

5、コース: 白樺コース5km、シャクナゲコース10km、チセヌプリコース15km
パノラマコース30kmの4コース

6、内 容 :

●絶好の素晴らしい天候のもと、スキーシーズン最後を惜しみながら又蘭越町開基120周年記念大会として開催されました。春の陽ざしを浴びながらニセコ連峰の雄大な景色を満喫し、爽やかな汗を流しました。

●スタート直後に過酷な登り坂の難所がありその後もかなり長く登りが続きます。選手は息をきらし懸命に登り終わるとチセヌプリ岳とシャクナゲ岳が目の前に迫りニセコ連峰の大パノラマが展開し、感動しました。

下りはヘアピンカーブをスキーをうまく操作し、又樹林の間を転ばない様に悪戦苦闘しながらゴールしました。

●ゴール後に、豚汁を食べながら初めて参加した70歳代の男性は「タイムも順位も関係なく景観を皆で楽しむ歩くスキー大会でほもぼのとした大会でした」と笑顔で話しておりました。

●会場では、蘭越町特産品の出店や豚汁・コーヒの無料サービスがあり大好評でした。開会式後の恒例のお楽しみ抽選会とゴール後の抽選もあり、大会を盛り上げました。
又帰りには雪秩父温泉で無料入浴をして汗を流し、仲間同士で今年の大会を振り返りました

ニセコ連峰歩くスキー大会 コース





前日(13日)蘭越町交流促進センター 幽泉閣にて会議後食事懇親会

促進セ





大会長・金秀行蘭越町長ご挨拶



参加人員:143名



司会者



名誉顧問・顧問



出発前の準備体操



30kmスタート



15kmスタート



5kmスタート

スタート直後の難所を登る



更に登ります





チセヌプリの麓



シャクナゲ岳の麓に行く・・・景観最高

過酷な登り坂の難所・・・息をきらし登りきりました・・・



ニセコ連峰の大パノラマが展開し感動しました

令和元年環境保護講座

【西岡公園(西岡水源地)植物の見学】

- 1、日時：令和元年5月19日(日) 10:00~12:40
- 2、場所：西岡公園 札幌市豊平区西岡487
- 3、天候：快晴、気温24℃
- 4、参加人員：20名
- 5、コース：管理事務所～自然公園一周の一部～水源地一周 7.8km
- 6、内容：

- 当公園は、西岡水源地と呼ばれる貯水池を中心に月寒川及びその上流域の湿原と森から成る公園で水と緑に恵まれた環境に多様な動植物が生息しています。水が豊かな公園内ではヘイケボタル等が生息し、またバードウォッチングや自然愛好家に広く親しまれています。
- 今回は事前調査した主な開花植物25種類を探して頂き幹事の解説等があり自然に対する環境を学ぶ事に致しました。可憐に咲いたオオバナエンレイソウ、ヒトリシズカ、ツクバネソウ、マイズルソウ、シラネアオイ等々を見つけ自然を身近に感じながら歩きました。

- 参加した60代の女性は「札幌の中心部の近くに、この様な自然度の高い場所が残されていることが感動的でした」と笑顔で話していました。
- 貯水池として作られた西岡水源地だけではなく、その南側には湿原があり、遊歩道が整備されていました。
湿原には、水芭蕉の開花は終わっていましたが、綺麗に咲く光景は、まさに札幌にある小さな「尾瀬」を連想させる素敵な公園でした。
- 環境保護講座は、協会の理念の一つに恵まれた自然に親しみ環境を守り、その破壊を防ぐように技術面でなくスポーツのマナーや自然保護の理念を復旧する。すなわち暖冬異変に伴い降雪が少ないとスキーが出来ない。このような願いを込めての環境保護講座が10年前から始まりました。
次年度も企画いたしますので、参加の程よろしくお願い致します。



オオバナノエンレイソウ



集合記念写真参加者20名





出発前の説明



事前に開花植物25種類のテーマ探しながら 自然に対する環境を学ぶ事にしました



植物を探す一行



可憐なシラネアオイ



歩道が整備されていて綺麗に咲く光景は、まさに札幌にある小さな「尾瀬」を連想させる
素敵な公園でした



水芭蕉の開花は終わっていましたが、夏はヘイケボタル等が生息し、またバードウォッチングや自然愛好家に広く親しまれています。

自然公園一部～水源地一周等・距離7.8km・・・少し疲れましたが・・・



札幌の中心部の近くに、自然度の高い場所が残されていることが感動的でした
・・・12時40分散・・・